



第9号 (10月号)
令和2年
9月30日発行

みどりの風

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成



「元気・笑顔・真剣」あふれた『スポーツフェスティバル』

校長 新井 英男

市内全ての小・中学校の運動会・体育祭が中止となった今年度。新型コロナウイルス感染症と熱中症に気をつけながらも、子供たちに素敵な思い出をつくってもらいたいという願いで行った『深小っ子スポーツフェスティバル』。

テーマは、「今だけだ！ 心の密でスマイルづくり。絆を強める深リンピック」でした。子供たちは密に気をつけ、手指を消毒し、暑さに負けないように水分をとり、直射日光を避け、友達との絆を強めながらチームワークで、決してあきらめることなく、最後まで全力を出し切ってがんばりました。いつもの年のように練習時間をとることができなかつたのですが、そんな中でもそれぞれの競技・演技に真剣に取り組む姿は、頼もしく見えました。目標に向かって精一杯努力する姿は、気持ちのよいものです。そんな瞬間を子供たちどうしが共有し、互いに付けた力を今後の自分に生かしていくというのが学校行事の醍醐味の一つだと実感しております。今回は、低・中・高学年別のスポーツフェスティバルとなりましたが、子供たちにとって、そして、私たち教職員にとって、素敵な思い出となりました。保護者の皆様にとっては、いかがだったでしょうか。

また、このスポーツフェスティバル成功のために、PTA執行部の皆様には、用具の出し入れ、テントの片付け等の様々な仕事をしていただきました。役員の方には、受付の仕事をしていただきました。保護者の皆様には、熱中症予防のために、様々な配慮をいただきました。多くの皆様の支えがあって、思い出に残るスポーツフェスティバルを実施することができました。ありがとうございました。

【各学年の出し物から】※ホームページ(9/18~23)に更に多くの写真を掲載しています。ご覧ください。

<開会式> 隣の子との間隔をあけて、広がった状態で集まりました。



※開会式は、1～6年生全員が集まって行いました。

<3・4年生> 自分たちの力を出し切り、チームのため、クラスのために頑張りました。



※子供たちが待っていると、熱中症予防のため、テントを用意しました。

<1・2年生> ダンスは1・2年生の息がぴったり合っていました。かわいかったです。



<5・6年生> 高学年として立派な態度で取り組みました。6年生は、鼓笛・応援も頑張りました。



10月の主な行事予定



日	曜日	主な学校行事	日	曜日	主な学校行事
1	木	登校指導、特日、基礎タイム、アルミ缶回収、緑の募金(6日まで)	17	土	
2	金	全校朝会(放送)	18	日	資源回収 
3	土		19	月	特日、読書、教育相談日
4	日		20	火	
5	月	特日、読書、教育実習生(5の3)	21	水	チャレンジタイム(国語①)
6	火	特日3、給食なし、就学時健診、6年生女子手伝い(弁当持参)	22	木	特日、アルミ缶回収、基礎タイム、キッズガーデニング(5年)
7	水	チャレンジタイム(算数①)	23	金	学級の時間
8	木	特日、アルミ缶回収、基礎タイム、川の博物館出前授業(5年)	24	土	
9	金	林間学校【日帰り】(5年)	25	日	資源回収予備日
10	土		26	月	特日、読書
11	日	★緊急連絡サイトアクセス点検(~17日)	27	火	学級の時間、ふれあい(縦割り)、クラブ(卒業アルバム撮影)、ステーションガーデン花植え(4年)
12	月	特日、読書	28	水	チャレンジタイム(国語②)、学校訪問
13	火	クラブ ★口座引き落とし日	29	木	特日、アルミ缶回収、基礎タイム
14	水	チャレンジタイム(算数②)	30	金	学級の時間
15	木	給食なし、弁当の日	31	土	土曜授業、特日3
16	金	学級の時間、卒業アルバム撮影			 

ネット、ゲーム、SNSの「こわさ」

ネット、ゲーム、SNSについて、3つの記事を紹介します。



(1)『ネット以外の楽しみ 体験を』神戸大学 曾良一郎教授

・ネットやゲーム依存の恐れがある子供たちにとって、学校の長期間の休みはよくない傾向がある。
・コロナの休校期間、多くの子がネットやゲームで過ごした。生活のリズムが乱れたり、昼夜逆転の子もいた。
・しかし、みんながネットやゲーム依存になったわけではない、多くの子は、学校が再開されると通常の生活に戻っている。
・世界保健機関は昨年、ネット・ゲームにのめり込んで健康や生活に支障をきたす障害を初めて病気と認めた。①使用をコントロールできない ②何よりも優先すべき楽しみになっている ③社会生活に支障が出ている、といった項目が12か月以上続いている状態としている。そうなる前に本人と親でよく話し合っ、納得の上でルールを決めることが重要。なぜ依存するかは、家庭や学校で満たされないものがあるからということ。ゲーム以外で安らげるもの、楽しめるものをつくることが大切。

(2)『ゲームチャットに潜む危険』(9月19日付 朝日新聞夕刊)

・オンラインゲームで小学校4年生の女の子が誘拐された。犯人は、「(ゲーム内でやりとりする)チャットと一緒に遊ぼうと誘い出した」と供述している。チャット機能があるゲームは子供たちの間に広がっており、専門家は「保護者が対策を」と話している。
・容疑者と女兒の連絡に使われたゲームは、スマートフォンやタブレット端末に無料でダウンロードして遊べるもの。不特定多数のユーザーがネットを使って参加し、グループに分かれて勝敗を競う。
・容疑者は、チャット機能を使って「一緒に遊ぼう」と誘い、女兒を誘拐。自宅では、「帰らせない」「静かにして」などと言って拘束した。
・チャットが使えるオンラインゲームは、急速に子供たちの間に広がっている。見知らぬ人ややりとりしている子も多い。ゲーム内では、「小学生」「女の子」とやっていると思っても、その正体はわからない。
・電話番号をチャットで入力できないようにしたり、年齢制限を設けてチャットを使えないようにしたりするなど、対策に取り組むメーカーもある。保護者が制限する機能もある。ただ、これらの制限機能には限界がある。ネットで検索すれば、年齢制限を解除する方法も見付けられる。
・保護者が子供と一緒にゲームをして、内容を把握することが必要。
・ゲームを禁止すれば、親に隠れてゲームをする恐れがある。
・「直接会ったことがある人以外はあつてはダメ」と伝えることが大切。

(3)『女子中学生誘拐容疑 大分の男逮捕』(9月24日付 朝日新聞朝刊)

・SNSで知り合った埼玉県内に住む中学生の少女を誘拐したとして、大分県の男(22歳)が未成年者誘拐の疑いで逮捕された。
・SNSで知り合った少女にメッセージを送り、ホテルに宿泊させるなどしたという。

本校のホームページから

【9月9日】『ネギの土寄せをしていただきました』

今日は、ネギの先生、篠崎元校長先生に来校いただき、ネギの土寄せ作業を行っていただきました。子供たちは、ネギの白い部分が長くなるように土寄せをすると、先週教えていただいたことを、実際に目の前で見ることができ、皆、身を乗り出して、食い入るように、土寄せ作業を見ていました。最後の、質問タイムも、子供たちの疑問に一つ一つ丁寧にお答えいただき、実りある学習となりました。篠崎先生、ありがとうございました。



【9月11日】『子供たちの力はすごい』～朝の除草作業～

今朝、全校で除草作業を行いました。今年度は、夏の奉仕作業をお願いすることができず、教職員で除草をしてきたのですが、広い敷地の草になかなか追いつきませんでした。

今日は、1年生から6年生まで全学年の子供たちで一斉に除草作業を行いました。子供たち全員の力は、すごいです。みんな一生懸命にやってくれたので、とってもきれいになりました。朝の15分弱の時間でしたが、子供たち全員の力のすごさに驚きました。



【9月11日】『うさぎに人参をありがとうございます』

本日保護者の方が、学校のうさぎのために人参を持ってきてくださいました。うさぎは毎日、粒のフードや草を食べています。たまに、給食で使った野菜の皮などを食べる時もありますが、野菜を丸ごと食べられる時は滅多にありません。そのため、うさぎに人参をあげると、とてもおいしそうに食べていました。ありがとうございました！



【9月14日】『運動委員会の泥上げ』

朝の時間、運動委員会の子供たちが泥あげをしてくれています。

学校のために、頑張ってくれています。ほかの委員会も、それぞれに、みんなが楽しい学校生活がおくれるように、様々な活動してくれています。5・6年生の力は、偉大です。



【9月16日】『ふかや農業協同組合から』～たくさんいただきました～

本日、ふかや農業協同組合様から、非接触式電子温度計1個と、除菌アルコールスプレー12本入りを2箱(1本 1000ml)いただきました。

新型コロナウイルス感染症予防・防止のために、いただきました。子供たちのために、活用させていただきます。ありがとうございました。



【9月17日】『アルミ缶回収』～今日もリヤカーいっぱいこ～

毎週木曜日は、アルミ缶回収の日です。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は、委員会の子供たちが回収せず、職員が子供たちが持ってきたものをそのまま預かってリヤカーに集めています。



【9月21日】「9月の『緊急連絡運用テスト』」～11日から17日まで～

ご協力ありがとうございました。9月17日 最終結果 290軒の登録(あと94軒)でした。

最終登録率 75.5%

- | ◆1 災害についての話し合っているか? | ◆2 災害が起こったときの行動を決めているか? |
|---------------------|-------------------------|
| ①話し合っている 43.1% | ①決めている 6.2% |
| ②話し合っていない 53.1% | ②だいたい決めている 35.5% |
| ③その他 3.8% | ③ほとんど決めていない 45.9% |
| | ④決めていない 12.4% |

※災害が起こったとき、どうするかを家族で話し合っているご家庭よりも、話し合っていないご家庭の方が少し多かったようです。また、災害が起こってしまったとき、どのような行動をするのかを決めているご家庭が約4割あることがわかりました。

災害は、いつ起こるかわかりません。「備えあれば憂いなし」。家族で話し合っておくことも大切だと思います。